

平成27年度第3回旭市道の駅建設準備委員会 会議録

日 時：平成27年8月25日（火）午後2時00分
場 所：道の駅会議室
事務局：企画政策課
外部アドバイザー：(株)船井総合研究所

1. 開会

代理出席（平野陽一委員：石毛副会長）報告
欠席（林委員、菅生委員）報告

2. あいさつ

委員長：建設準備委員会の前身である検討委員会が平成22年4月から始まり、それから5年以上が経ちます。皆様大変長い間ありがとうございました。お蔭様でこのような立派な施設ができました。会議後は皆様に施設の見学をしていただきますので、忌憚のない意見をいただきたいと思います。

市長：長きに渡り道の駅の建設に関わっていただきまして、心から感謝申し上げます。
検討委員会から5年以上が経ちますが、皆様には様々な面で支えていただきまして、いよいよ10月17日（土）18日（日）のグランドオープンを迎えることができます。道の駅の運営を行う指定管理者については、7月30日の臨時議会において、「株式会社季楽里あさひ」が指定管理者として、議会の議決をいただきました。現在、社員の採用やパートの選考などを行い、正式に開業準備に入っている段階です。旭市は農産物の生産額が県内一位であり、この道の駅を拠点として、旭を全国にPRをしていきたいと思います。皆様の長きに渡るご協力に感謝を申し上げるとともに、道の駅オープンの最後の詰めとして、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

3. 議題

（1）道の駅主要施設のネーミングについて説明

※事務局より説明

- ①道の駅季楽里あさひのサブタイトル「自然味いっぱい食の郷あさひ」
 - ②農水産物直売所「旬のとれたて市場」
 - ③バイキングレストラン「四季食彩館」
- 以上のとおり決定した。

（2）人事について説明

※駅長より説明

①正社員について

80名を超える応募の中から5名の正社員を決定した。（物販2名、料理長1名、飲食1名、総務1名）9月1日から就業する。

②パート社員について

57名の応募があり、計画では34名を採用する予定である。9月上旬には決定し、

10月1日から就業する予定である。

③正社員・パート社員の接客・接客研修について

サービス業に通ずる講師に来ていただく。研修の対象者は、テナントの従業員を含めた道の駅すべての従業員である。お客になりきり訓練するロールプレイング等を行う。なお、講師には10月15日から18日の間滞在していただき、オープン時に現場で何かトラブルがあった場合に対応してもらう。

※アドバイザーより説明

接客研修のあとに2回目の研修として、別の講師による接客・接客の研修をはじめ、売り場のポップ作り研修などを行う。

各委員からの意見

市長：料理長の経歴を報告してほしい。

駅長：長年、飲食店を経営されている方である。料理長については、公募ではなく、こちらから料理長として働かないかと話を持ちかけた。数週間考えてもらい、料理長を引き受けていただいた。また、飲食部門では、もう1人元気のいい女性を採用したので、料理長と2人3脚でやってもらいたいと思う。

(3) オープンの販売促進と試食会の開催について

※アドバイザーより説明

道の駅オープン企画で押さえておきたい4つのポイント

① 目玉商品企画

オープンならではの目玉商品を開発し販売やふるまいを企画している。

② お買い上げ特典

たくさん商品を買っていただいた方に特典として、ガラポンのような福引を企画する。2000円以上のお買い上げの方を対象にし、客単価アップを目指す。

③ 屋台・テナントイベント

施設内の混雑を緩和させるため、イベントスペースを利用しての施設外で屋台などの販売を行う。また姉妹都市の特産販売等を企画している。

④ 賑やかイベント

お祭感の演出として、無料で楽しめるイベントを企画する。観光大使の椎名佐千子さんや市内の趣味サークル（コーラス、ダンス等）に出演していただく。

これらのオープンイベント企画のチラシ（B3・カラー・両面刷り）の新聞折込をする予定である。

各委員からの意見

委員：オープン時は相当込むと思うが、売り場の入場制限は考えているか。

アドバイザー：入場制限までは考えていない。大半の方は車でお越しになられると思うので、駐車場対策をしっかりしたい。あとは、ガラポンを屋外に配置したり、イベントショーを見てもらうなどして、お客様を屋外に流す仕組みを作りたい。

委員：雨天の場合、イベントはどうするのか。

事務局：施設内の情報発信コーナーをうまく利用したいと思うが、情報発信コーナーの中で出来ないものについては中止するように考えている。

委員長：どのくらいの来場数を予想しているのか。

アドバイザー：買い物をしてくれる人が、1日あたり2000人から2500人だと予想している。

市長：駐車場は不足しないか。ピストンバスの運行を考えたほうが良い。

事務局：駐車場不足が考えられるので、中央病院の職員駐車場約400台分を確保している。

しかし、そこから歩くとなると距離があるので、ピストンバスの運行を考えている。

委員長：トイレは、男性用と女性用、それぞれいくつあるか。

事務局：屋外トイレは、男性用が大6器・小9器、女性用が12器である。屋内トイレは、男性用が大1器・小4器、女性用2器である。

委員：交通整理はどうするか。施設の前のT字路は相当込むと思う。人員も相当数必要だ。

市長：交通安全協会に頼んではどうか。

駅長：会社なので、警備会社や社員で対応しようと思う。これからイベントを行うごとに交通安全協会に頼るというわけにはいかない。事故等あると大変なので、できればプロにお願いしたい。

試食会の開催について

※アドバイザーより説明

試食会を2回開催する。1回目は10月の上旬に建設準備委員会の委員と取締役会の役員、約20名を招いて行う。目的は、メニューに対しての意見をいただくことと、社員やパート社員がたくさん量を作ることに慣れることである。2回目の試食会はその翌日に行う。新聞、雑誌、TVなどのメディアの方を招いて、報道目的で開催する。2回の試食会を連続して開催することで、連続で厨房を使用するとどのような状態になるのかがわかる。

各委員からの意見

委員：1回目の試食会のメンバーについてだが、味について意見を求めるのであれば、男女幅広い年齢層の方を対象にした方が良いのではないか。

アドバイザー：幅広い年齢層を対象にすることも考えたが、会社が立ちあがったばかりで、他にもやらなくてはならないことが色々ある状況なので、今回は20名ほどを対象として行うことになった。また、対象を幅広くすると、意見が分散してしまう。

委員：60席あるのだから、招待人数を増やしてはどうか。その方が色々な意見も収集できると思う。

委員長：実際は60席で営業するのだから、ウォーミングアップとして、それに近い人数がいた方がよい。

市長：それではなるべく60人に近い形で準備してほしい。

(4) その他

次回以降の日程について

- ・レストランの試食会 10月の上旬に開催
- ・竣工式 10月16日（金）10時30分

農産物の出荷について

※駅長より報告

年配の方で、品物を道の駅に運んでくれば、出荷するという方がいらっしゃる一方で、ガソリン代をもらえれば自分の車で配達をしてもよいという方がいらっしゃった。そこで出荷者協議会の会長と話し合い、利用する出荷者が1コンテナ100円程で集荷することを考えている。なお、売れなかったものについては、廃棄料をいただいて廃棄するようにしたい。

各委員からの意見

市長：新聞折込について、匝瑳市と旭では足りないのではないか。東庄、銚子にも配ったほうがよいのではないか。

アドバイザー：もともと計画では30分商圈内を想定していた。費用対効果のことを考えながら、会社の判断になる。

駅長：また、新聞を取ってない世帯にはチラシが届かないので、チラシ以外の宣伝も必要であると考えている。

4. 閉会

市長：皆様のお力添えのお陰で、いよいよ道の駅のオープンを迎えます。私にとっても、委員長にとっても、道の駅は夢でありました。オープンしてから色々な面で不備があるかもしれませんが、これからも皆様からご意見をいただければと思います。皆様の4年半に渡るご協力に心から感謝申し上げます。

閉会后 道の駅施設見学